

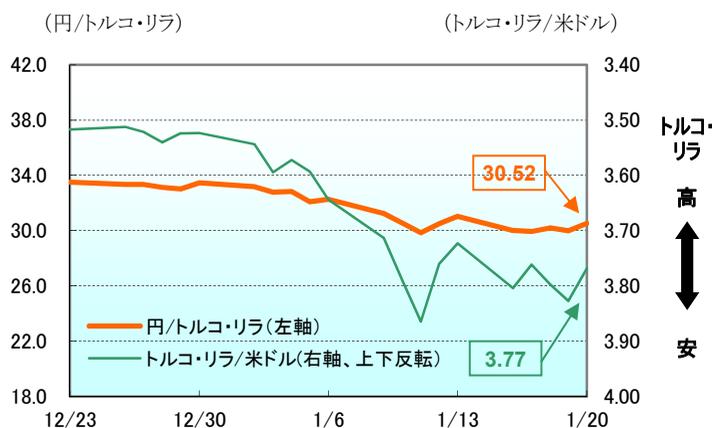
## トルコの金融市場動向 Weekly Report

【2017年1月14日～2017年1月20日までの推移】

### 【1】先週の回顧

先週のトルコ・リラ相場は、1週間を通して見ると対米ドル、対円で下落となりました。また、2年国債は金利上昇となりました。トルコ中央銀行は、新たに通貨安を抑制するための施策として、通貨スワップ(買い戻し条件付きのトルコ・リラ買い・米ドル売り介入)を実施しました。同施策はブラジルなどでも通貨安抑制策として利用されており、ブラジルの例を見ると一定程度、通貨安圧力を軽減する効果があると考えられます。トルコ中央銀行はトルコ・リラ安に対する警戒を強めているとみられ、24日(現地、以下同様)の金融政策委員会の決定をめぐる思惑に左右されやすい相場展開となりました。

【トルコ・リラ 為替推移】 (2016年12月23日～2017年1月20日)



※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

### 【2】今週の見通し

今週は金融政策委員会の開催が予定されています。ブルームバーグ社の事前調査によると、市場予想は割れているものの、多くの参加者が利上げが行われる事を予想しています。また21日には、トルコ議会で大統領権限を強化する憲法改正案を賛成多数で可決し、国民投票を行う事が決定されました。4月頃に実施されると考えられる国民投票に向けて、エルドアン大統領を筆頭とした一部の政治家は利上げに反対する姿勢を見せており、中央銀行がどのような決定を下すかに注目が集まります。金融政策委員会での決定が今後の相場を左右しやすいと考えられます。

【トルコ 金利推移】 (2016年12月23日～2017年1月20日)



### 【3】主要経済指標

発表日	発表頻度	期間	指標名	データ	(参考)前回
1/24	月次	-	1週間物レポ金利	-	8.00%
1/24	月次	-	翌日物貸出金利	-	8.50%
1/24	月次	-	翌日物借入金利	-	7.25%

※「主要経済指標」は、資料作成時点のデータを基に作成しております。

(出所:ブルームバーグより大和投資信託作成)

#### 当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託フリーダイヤル0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>